

クアラルンプール新国際空港建設事業



クアラルンプール新国際空港

借款概要

承諾額/実行額	61,518百万円/50,309百万円
借款契約調印	1994年7月
借款契約条件	金利3.0%、返済25年（据置7年）
貸付完了	貸付実行未完了（2001年2月時点）

事業概要

クアラルンプールの南方約50kmに位置するセパンに滑走路2本、旅客ターミナルビル等の空港主要設備をもつ新国際空港を建設し、2003～2005年の旅客需要（2,500万人）に対応するもの。

評価結果

同空港は1998年6月に開港しているが、1999年から現在まで旅客数、貨物取扱量とも伸びている。また、International Air Transport Association（IATA）の1999年の調査によると年間15百万人～25百万人を扱う空港のカテゴリーにおいてビジネス客の満足度の点で、同空港はトップに位置付けられた。一方、マレーシアを訪問した観光・ビジネス客数は、アジア経済危機の影響を受けて1997、1998年と伸び率がマイナスであったが、同空港の完成後、1998年から1999年にかけて、42.9%の伸びを示しており、2000年の数値は10月時点で約835万人とすでに前年度の年間実績793万人の数値を超えている。現在、民間事業者同様に同空港の運営委託（コンセッション方式）によりMalaysia Airport Sepang Sdn Bhd（MASSB）が行っており、開港年1998年、1999年の実績では売上げ、税引き前利益とも上昇しており、今後も予想通りに利用者が推移すれば安定した運営が行われるものと見込まれる。